

2021年1月29日

CLSA キャピタルパートナーズ

株式会社ノーザ株式の一部譲渡について

CLSA キャピタルパートナーズがアドバイザーを務める Sunrise Capital III (日本企業特化型投資ファンド、以下「サンライズ・キャピタル」)は、株式会社イーエムシステムズ(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長執行役員:國光 宏昌、以下「EMシステムズ」)との間で、保有する株式会社ノーザ(本社:東京都中野区、代表取締役社長:石濱人樹、以下、「ノーザ」)の株式の一部を EMシステムズに譲渡することに合意し、取引を完了したことをお知らせいたします。

本譲渡後もサンライズ・キャピタルはノーザ株式の過半数保有を継続します。現状の経営体制並びに社名、事業の運営方針などに特段の変更はございません。

EMシステムズは、クリニック・薬局向け及び介護/福祉サービス事業者向けシステムの開発・販売・保守を行い、薬局向けシステムにおいてはトップシェアを持つ、東京証券取引所第一部に株式を上場している企業です(証券コード:4820)。

ノーザは、歯科向け・医療機関向けシステムの開発・販売・保守を行う企業です。2018年4月に実施された現経営陣による MBO に伴いサンライズ・キャピタルが資本参加しております。

サンライズ・キャピタルは、ノーザの株主に新たに EMシステムズを迎えることはノーザの成長に資するものと考えております。EMシステムズとの関係をより強化するもとで、ノーザのさらなる発展を促進してまいります。

以上

###

ノーザについて

ノーザは、東京都中野区に本社を置く、歯科医院向けレセプトコンピュータ、病院向け透析業務支援システムの専門開発業者であり、医療情報処理装置の研究開発・製造・販売・保守、OEM供給を行っております。

ノーザに関する詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.nhosa.com/>

CLSA キャピタルパートナーズについて

CLSA キャピタルパートナーズ(本社:香港)は、アジア有数の総合金融機関のCLSA傘下の資産運用部門です。1995年の設立以来、投資テーマ別に特化型ファンドを組成し、プライベートエクイティ、投資銀行、経営コンサルティング、財務、会計、法務、事業会社など各種分野・業界での専門知識を有するプロフェッショナルが、地域に根ざした豊富な経験とともに、多くのアジア企業の支援に従事しています。

サンライズ・キャピタルについて

サンライズ・キャピタルはCLSAキャピタルパートナーズがアドバイザーを務める、日本の中堅・中小企業への投資に特化したプライベートエクイティファンドです。2006年に設立され、経営陣・投資先と一体となり、投資先企業の企業価値向上を目指します。また、CLSAのグローバルネットワーク(15カ国、22支店)を活用した海外展開支援に加え、株式上場支援も強みとしています。設立以来、累計約1,500億円を調達し、競争力に優れ成長潜在性を秘めた日本の中堅・中小企業へ新規投資・追加投資含め約30社への投資を実施し、事業継承案件において豊富な経験と実績を有します。

CLSAキャピタルパートナーズまたはサンライズ・キャピタルに関する詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.clsacapital.com/fund-sunrise-japanese.html>

本件に関するお問い合わせ先

CLSA キャピタルパートナーズジャパン株式会社

桑木翔太 Tel: (03)4578-6300 Email: shota.kuwaki@clsa.com